



“地域のことは地域で考えよう”

〒900-0013 那覇市牧志1丁目3番45号、3階 電話 (098) 869-8711

各 位

2022年3月30日

株式会社 おきぎん 経済研究所

おきぎん県内景況・速報（2022年2月分）

◎県内景況は、新型コロナウイルス感染症の影響により厳しい状況が続いており、持ち直しの動きに弱さがみられる。

☆個人消費：スーパー売上高は全店ベース、既存店ベース共に前年同月を下回る。

百貨店売上高は前年同月を下回る。

家電卸出荷額は前年同月を下回り、新車販売台数も下回る。

☆建設関連：公共工事請負金額は前年同月を上回る。

生コン、セメントはともに前年同月を下回る。

☆観光関連：入域観光客数は前年同月を上回り、観光施設入場者数は下回る。


ホテル稼働率は、シティホテル、リゾートホテル、ビジネスホテルのすべてで前年同月を上回る。ホテル客室単価、宿泊収入(推計値)においても前年同月を上回る。

☆企業倒産：負債総額、件数ともに前年同月を下回る。

※ お気づきの点、不明な点などがございましたら、下記までご連絡ください。

[担当]：新垣、中江、小嶺 [連絡先] 電話：098-869-8711 ファクシミリ：098-869-2200

現場主義とお客さまからの信頼

おきぎん県内  景況・速報(2022年2月分)

◎2022年2月 おきぎん「カトリア」景況図



◎概況：県内景況は、新型コロナウイルス感染症の影響により厳しい状況が続いており、持ち直しの動きに弱さがみられる。

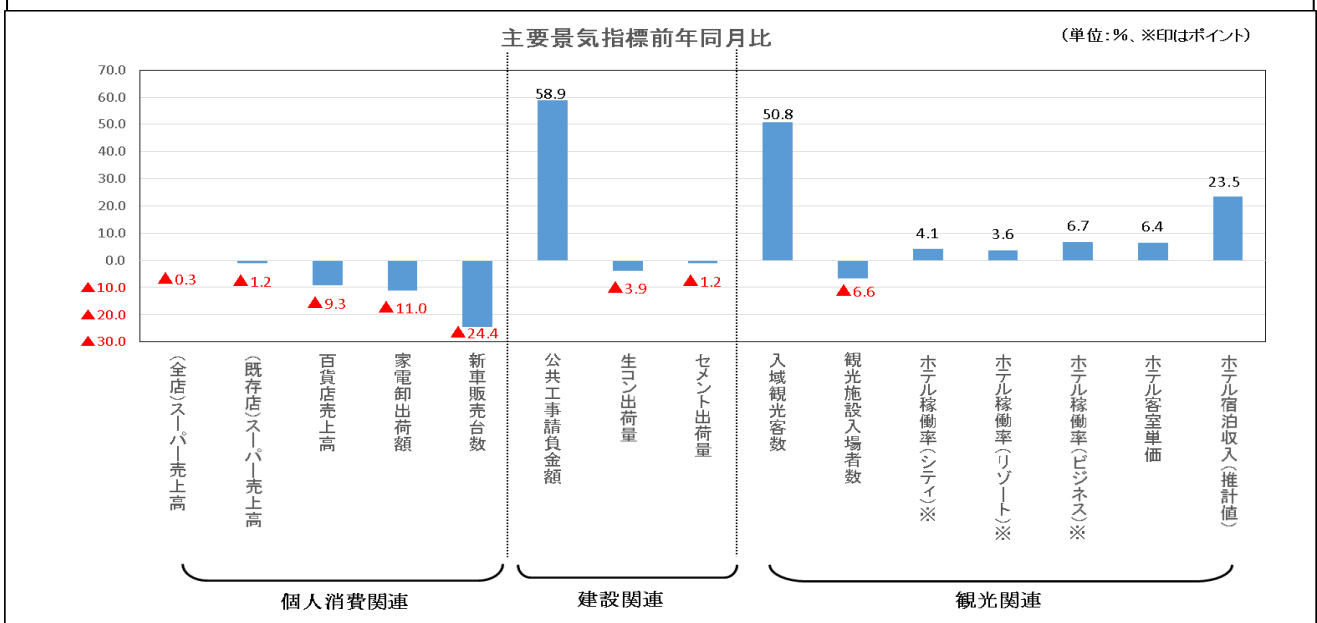
2月の県内景況は、個人消費関連では、スーパー売上高は、全店ベース、既存店ベース共に前年同月を下回りました。百貨店売上高は、前年同月を下回りました。耐久消費財である家電卸出荷額は前年同月を下回り、新車販売台数も前年同月を下回りました。

建設関連では、公共工事請負金額は前年同月を上回りました。建設資材である生コンとセメントはともに前年同月を下回りました。

観光関連では、入域観光客数は前年同月を上回り、観光施設入場者数においては前年同月を下回りました。ホテル稼働率はシティホテル、リゾートホテル、ビジネスホテルのすべてにおいて、前年同月を上回りました。ホテル客室単価、宿泊収入(推計値)においても前年同月を上回りました。しかし新型コロナウイルス感染拡大の影響により、前々年同月と比べると厳しい状況となっています。

このような状況に鑑みて、個人消費は巣ごもり需要の反動や、耐久消費財の供給制限などにより弱さが見られ、建設関連は民間工事に弱い動きが続いています。観光関連は、新型コロナウイルスの感染拡大により、持ち直しの動きが停滞しています。よって、「県内景況は、新型コロナウイルス感染症の影響により厳しい状況が続いており、持ち直しの動きに弱さがみられる」と景気判断を据え置きました。

(2022年1月の下方修正から2ヵ月連続で判断維持)



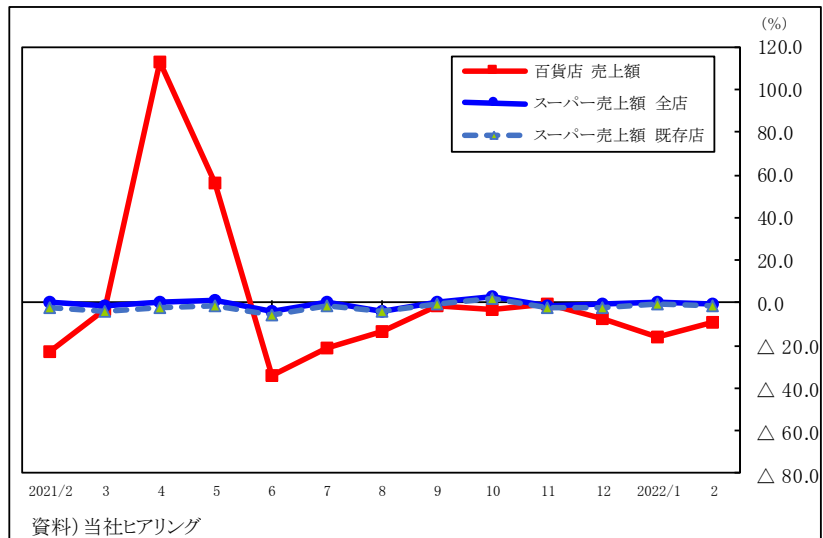


■個人消費： (やや悪い)

① スーパー売上高は、全店ベース、既存店ベース共に前年同月を下回る。百貨店売上高は、前年同月を下回る。

単位：%

	スーパー売上額		百貨店 売上額
	全店	既存店	
2021/2	0.1	△ 2.1	△ 22.6
3	△ 1.7	△ 3.7	△ 3.5
4	0.2	△ 1.9	113.0
5	1.0	△ 1.0	56.4
6	△ 4.1	△ 5.6	△ 34.3
7	0.7	△ 1.3	△ 20.8
8	△ 3.6	△ 3.8	△ 13.7
9	0.0	△ 0.5	△ 1.2
10	2.9	2.3	△ 3.0
11	△ 1.0	△ 2.0	△ 0.5
12	△ 0.9	△ 1.9	△ 7.2
2022/1	0.7	△ 0.2	△ 16.3
2	△ 0.3	△ 1.2	△ 9.3



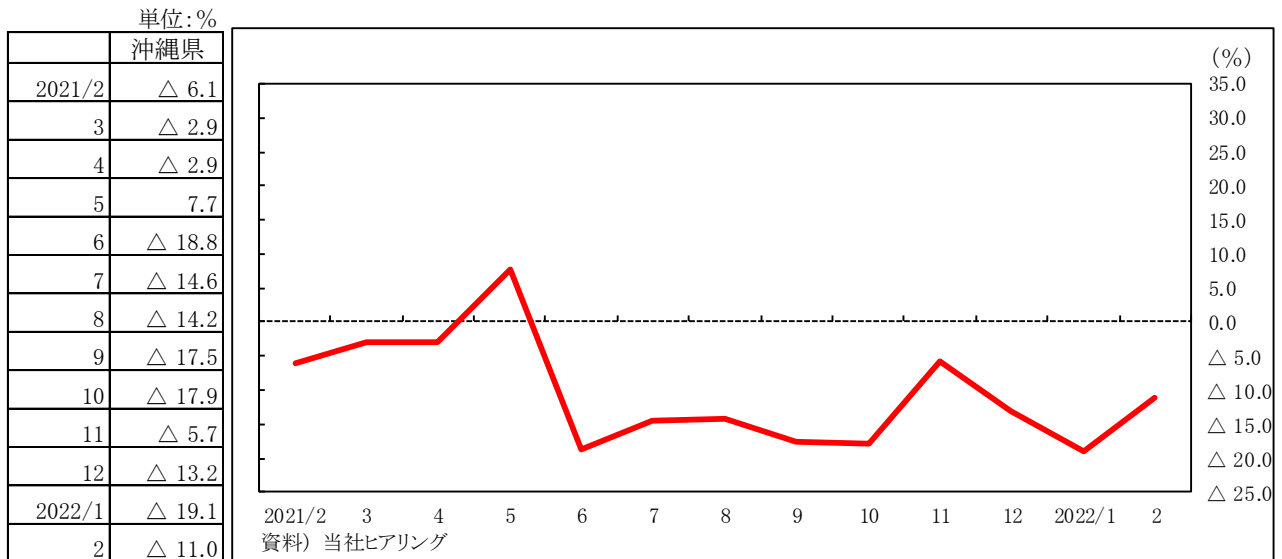
注) 前年同月比

2月の個人消費関連では、スーパー売上高「全店ベース(前年同月比0.3%減)」は、2ヵ月ぶりに前年同月を下回りました。品目別では、「食料品(同1.1%減)」は前年の緊急事態宣言下における巣ごもり需要の反動などにより前年同月を下回りました。「衣料品(同0.2%増)」、「家庭用品(同2.8%増)」については、前年の外出自粛の反動などにより、前年同月を上回りました。

「既存店ベース(同1.2%減)」は、4ヵ月連続で前年同月を下回りました。品目別では、ウェイトの高い「食料品(同1.5%減)」は、前年の緊急事態宣言下における巣ごもり需要の反動などにより前年同月を下回りました。「衣料品(同1.0%減)」も前年同月を下回りました。「家庭用品(同0.4%増)」は前年の緊急事態宣言による外出自粛の反動などにより、前年同月を上回りました。

百貨店売上高は、前年同月を下回りました(同9.3%減)。内訳をみるとウェイトの高い、「食料品(同1.1%増)」は、バレンタインギフト商品の好調などにより前年同月を上回りました。「衣料品(同1.2%増)」も前年同月を上回りました。「雑貨(同32.7%減)」、「家庭用品(同29.3%減)」は、売り場面積の減少(テナント化)などがあり、前年同月を下回ったことから、全体としては9ヵ月連続で前年同月を下回りました。

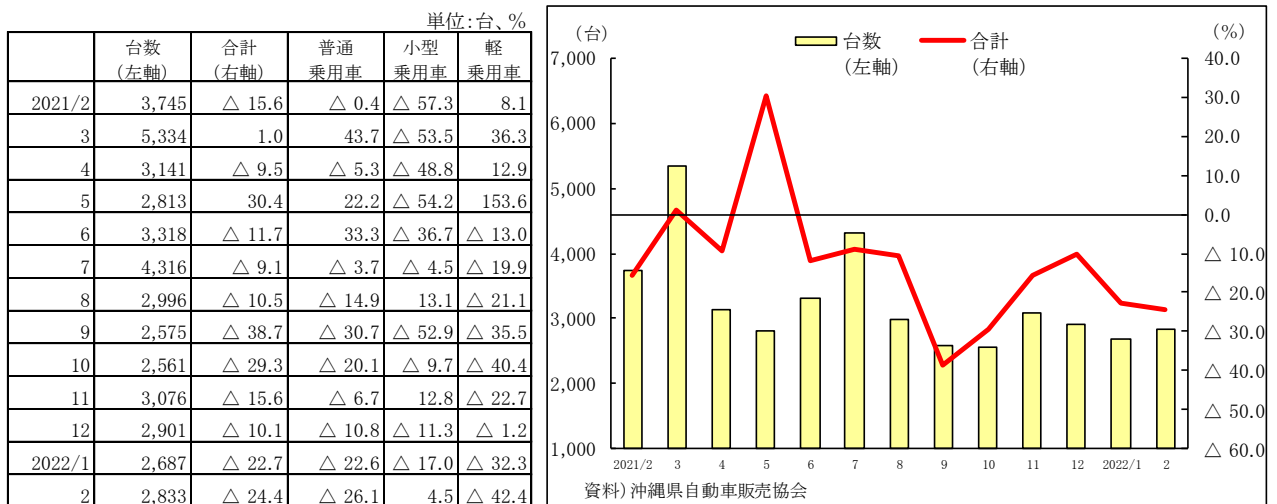
② 家電卸出荷額…家電卸出荷額は前年同月を下回る。



注) 前年同月比

家電卸出荷額は、9ヵ月連続で前年同月を下回りました(同 11.0%減)。品目別では、「テレビ(同 18.9%増)」、「冷蔵庫(同 7.1%増)」は、新商品の発売などにより前年同月を上回りました。一方、「洗濯機(同 39.2%減)」、「エアコン(同 10.6%減)」は前年の反動などから前年同月を下回りました。

③ 新車販売台数…新車販売台数は、前年同月を下回る。



注) 前年同月比

注) 普通乗用車及び小型乗用車は登録車、軽乗用車は届出車の数値を表示。

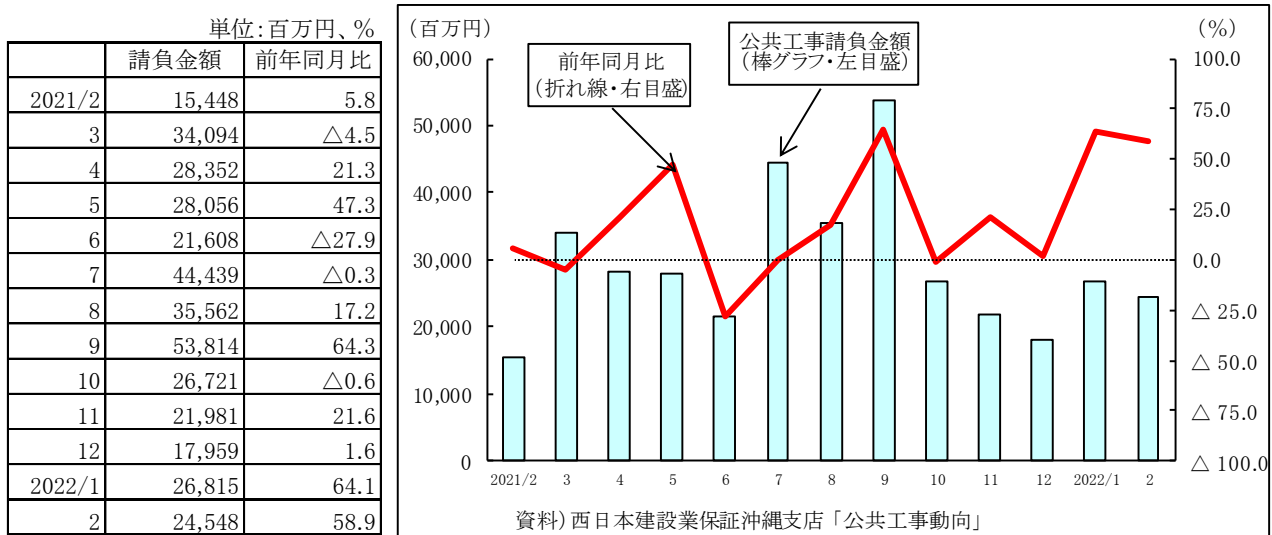
新車販売台数は、全体で2,833台(同 24.4%減)となり、9ヵ月連続で前年同月を下回りました。車種別では、「小型乗用車(同 4.5%増)」は前年同月を上回ったものの、「普通乗用車(同 26.1%減)」、「軽乗用車(同 42.4%減)」において、半導体不足の影響による納品の遅れが長期化していることなどにより、生産が減少し、前年同月を下回りました。

※普通乗用車及び小型乗用車は登録ベース、軽乗用車は届出ベースの数値を合算。

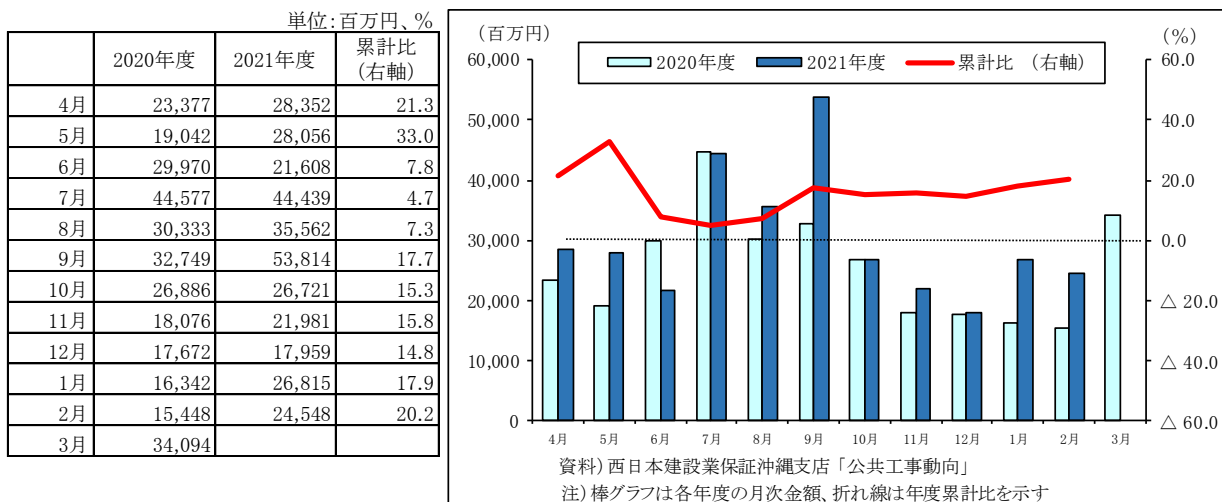


■建設関連： (ふつう)

①公共工事・・・公共工事請負金額は前年同月を上回る。



【参考】公共工事（年度累計）・・・公共工事請負金額は前年同期を上回る。



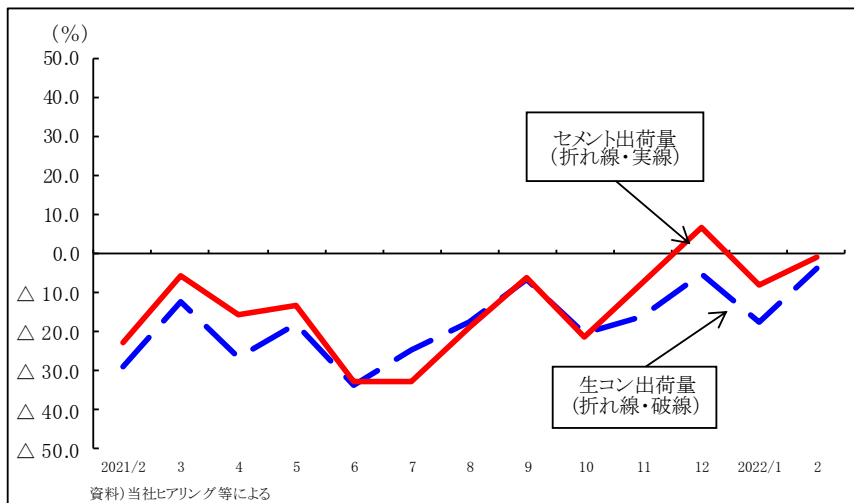
2月の公共工事請負金額は、前年同月比 58.9%増の 245 億 4,800 万円となりました(4ヵ月連続増)。今年度累計値では 20.2%増となっております。

発注者別でみると、「国(同 204.1%増)」、「沖縄県(同 62.2%増)」は前年同月を上回りました。一方、「その他の公共的団体(同 98.2%減)」、「独立行政法人等(同 96.6%減)」、「市町村(同 33.3%減)」は前年同月を下回りました。

②建設資材・・・生コン、セメントはともに前年同月を下回る。

単位:前年同月比(%)

	生コン	セメント
2021/2	△ 29.1	△ 22.8
3	△ 12.2	△ 5.9
4	△ 26.5	△ 15.8
5	△ 18.3	△ 13.1
6	△ 33.7	△ 32.9
7	△ 24.7	△ 32.6
8	△ 17.7	△ 18.9
9	△ 6.6	△ 6.1
10	△ 20.6	△ 21.2
11	△ 16.4	△ 7.7
12	△ 5.2	6.5
2022/1	△ 17.5	△ 8.1
2	△ 3.9	△ 1.2



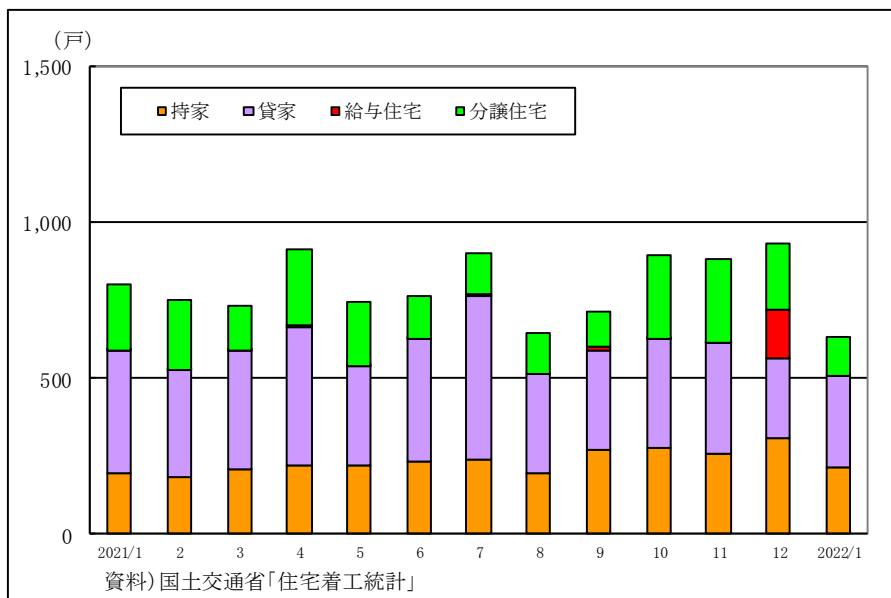
(注) セメント出荷量は、速報値につき、確報にて修正される場合がある

建設資材関連では、生コンの出荷量は3.9%減と25ヵ月連続で前年同月を下回りました。内訳をみると、公共工事向けは、防衛施設や公共施設等への出荷が増加したことなどから前年同月より1.9%上回り、民間工事向けはホテル関連等への出荷が減少したことなどから前年同月より7.6%下回りました。セメント出荷量は1.2%減と2ヵ月連続で前年同月を下回りました。

③【参考】住宅投資(1月)・・・着工戸数は前年同月を下回る。

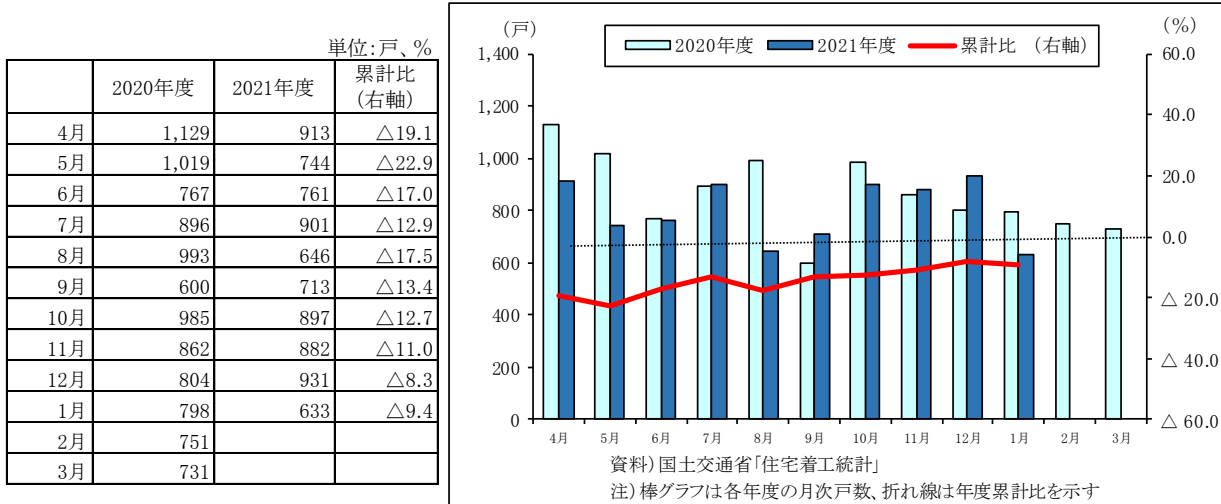
単位:戸、%

	着工戸数	前年同月比
2021/1	798	19.1
2	751	△15.0
3	731	△33.2
4	913	△19.1
5	744	△27.0
6	761	△0.8
7	901	0.6
8	646	△34.9
9	713	18.8
10	897	△8.9
11	882	2.3
12	931	15.8
2022/1	633	△20.7



1月の新設住宅着工戸数は、全体で前年同月比20.7%減の633戸となり、3ヵ月ぶりに前年同月を下回りました。利用別戸数をみると「給与住宅(同100%減)」や「分譲住宅(同39.6%減)」、「貸家(同24.6%減)」は前年同月を下回りました。一方、「持家(同9.4%増)」は前年同月を上回りました。

【参考】住宅投資（年度累計）・・・着工戸数は前年同期を下回る。



今年度累計値では、9.4%減となっています。



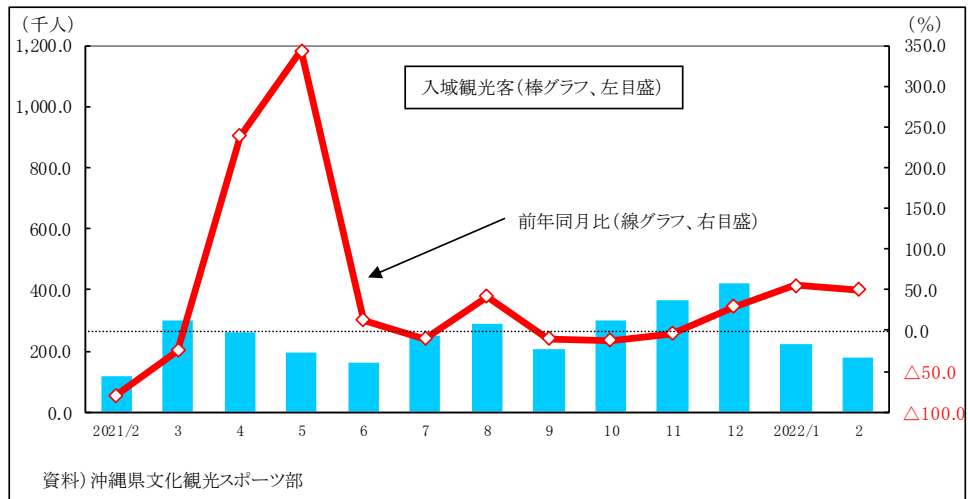
■観光関連： (悪い)

①入域観光客数 (国内客・外国客の合計)・・・前年同月を上回る。

単位:千人、%

	入域観光客	前年同月比
2021/2	118.8	△79.9
3	299.2	△24.5
4	262.6	239.7
5	195.2	343.6
6	162.9	13.0
7	250.4	△9.7
8	288.2	42.1
9	204.9	△10.0
10	299.0	△12.4
11	368.0	△3.4
12	423.5	29.8
2022/1	224.6	56.0
2	179.1	50.8

※外国客は乗務員等を含む

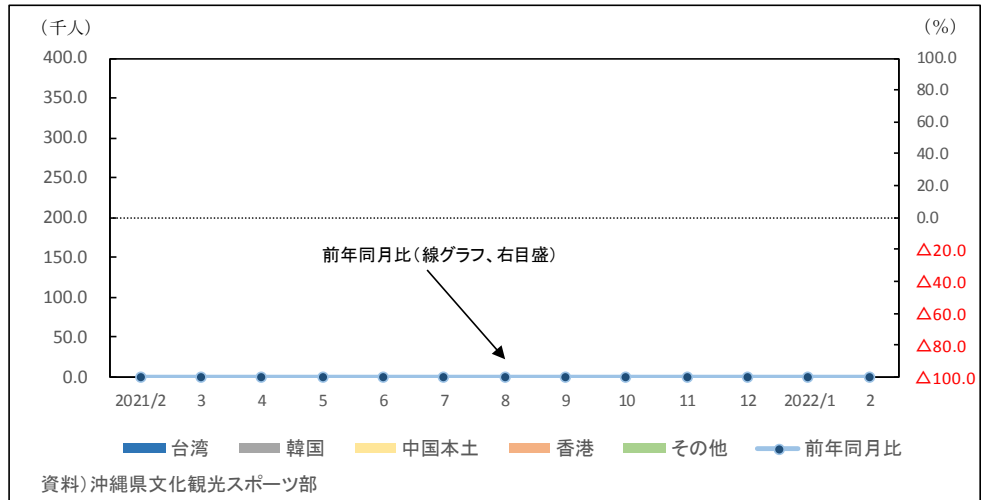


外国客 入域観光客数・・・前年同月同様、皆減。

単位:千人、%

	入域観光客	前年同月比
2021/2	0.0	△100.0
3	0.0	△100.0
4	0.0	△100.0
5	0.0	△100.0
6	0.0	△100.0
7	0.0	△100.0
8	0.0	△100.0
9	0.0	△100.0
10	0.0	△100.0
11	0.0	△100.0
12	0.0	△100.0
2022/1	0.0	△100.0
2	0.0	△100.0

※外国客は乗務員等を含む



2月の入域観光客数は、60,300人多い179,100人(前年同月比50.8%増)となり、3ヵ月連続で前年同月を上回りました。前年同月は緊急事態宣言下にあったことなどから、上回りました。しかし、前々年(2020年)同月比では411,800人減少(69.7%減)と大きく下回っており、厳しい状況となっています。

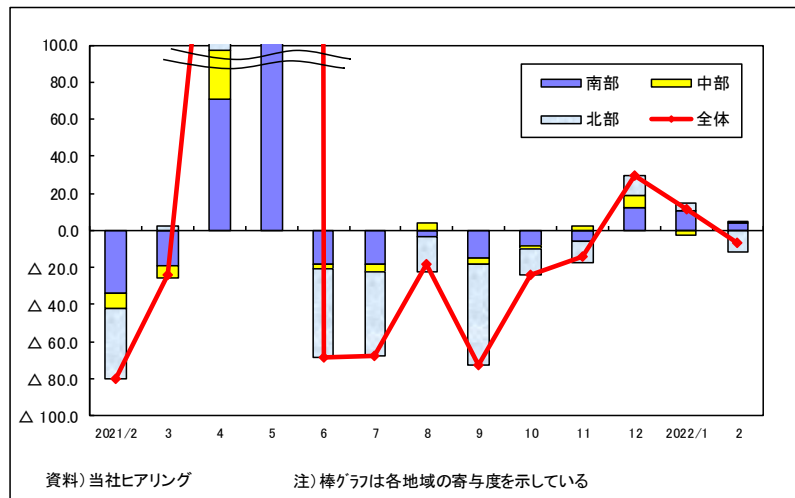
外国客入域観光客数は、前年同月同様、皆減となりました。台湾、中国、香港、韓国を含む国や地域から日本への入国制限措置が継続しており、引き続き厳しい状況が続くと予想されます。

②観光施設入場者数・・・前年同月を下回る。

単位: %

	入場者数(前年同月比)			
	全体	南部	中部	北部
2021/2	△ 80.3	△ 91.1	△ 81.7	△ 72.5
3	△ 23.6	△ 46.0	△ 44.3	5.2
4	247.0	208.7	242.5	271.5
5	17,071.0	22,466.4	5,377.9	25,429.4
6	△ 68.8	△ 70.6	△ 47.7	△ 69.6
7	△ 67.5	△ 65.3	△ 64.9	△ 68.7
8	△ 18.4	△ 9.0	76.8	△ 35.2
9	△ 72.4	△ 56.8	△ 56.9	△ 79.8
10	△ 23.5	△ 28.1	△ 18.4	△ 22.1
11	△ 14.3	△ 16.0	40.0	△ 19.9
12	30.0	37.9	46.7	20.9
2022/1	11.6	42.8	△ 15.5	6.7
2	△ 6.6	23.7	10.0	△ 15.7

※調査対象施設数＝南部6、中部5、北部4施設
※公表後に改定する場合があります最新公表資料が確定値とする。



観光施設入場者数は、全体では 6.6%減となり、3 ヶ月ぶりに前年同月を下回りました。地域別では、南部の観光施設は 23.7%増、中部は 10.0%増、北部は 15.7%減となりました。北部の一部施設における来園者数減少などから、全体としても前年同月を下回りました。

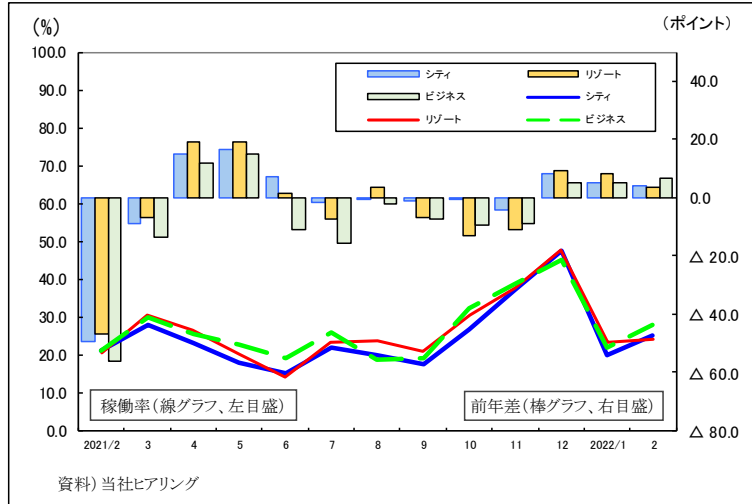
(参考)前々年(2020年)比では、全体で 81.6%の減少となります。内訳では南部の観光施設は 89.0%減少、中部は 79.9%減少、北部は 76.8%の減少となっています。

③ ホテル稼働率・・・シティホテル、リゾートホテル、ビジネスホテルすべてにおいて前年同月を上回る。

単位: %、ポイント

	稼働率			前年同月差		
	シティ	リゾート	ビジネス	シティ	リゾート	ビジネス
2021/2	21.0	20.4	21.2	△ 49.3	△ 46.7	△ 56.4
3	27.8	30.3	29.8	△ 9.2	△ 7.0	△ 13.4
4	23.0	26.4	25.5	14.7	19.3	11.6
5	17.9	20.3	22.7	16.6	18.9	15.1
6	15.3	14.1	19.3	7.2	1.3	△ 11.1
7	22.1	23.2	25.9	△ 1.8	△ 7.3	△ 15.8
8	19.8	23.8	18.7	△ 0.2	3.5	△ 2.0
9	17.6	20.8	19.2	△ 1.2	△ 6.7	△ 7.6
10	26.8	30.4	32.2	△ 0.2	△ 13.3	△ 9.7
11	37.1	37.5	38.7	△ 4.1	△ 10.8	△ 9.1
12	47.3	47.5	45.1	8.4	9.0	5.2
2022/1	20.1	23.2	22.0	4.9	8.3	5.1
2	25.1	24.0	27.9	4.1	3.6	6.7

注)シティ8ホテル、リゾート18ホテル、ビジネス4ホテル
※公表後に改定する場合があります最新公表資料が確定値とする。

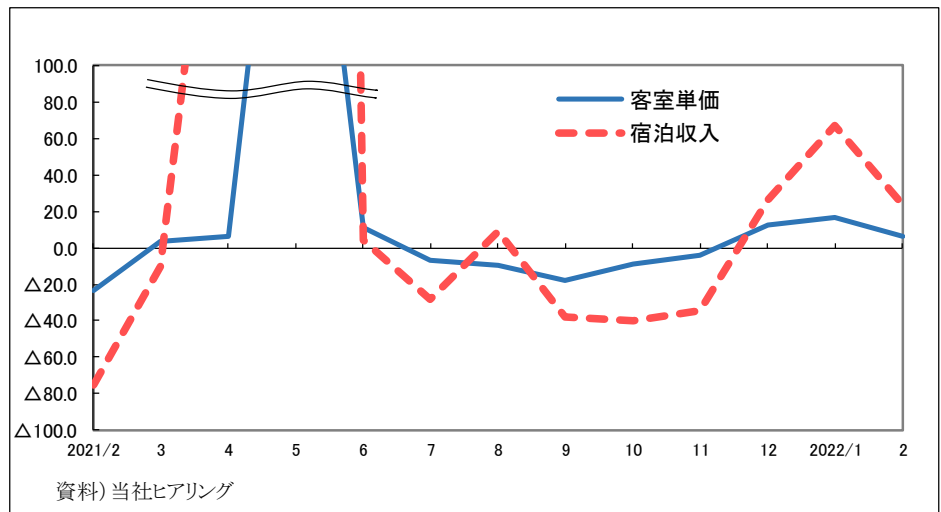


県内ホテル稼働率は、シティホテルは前年同月比 4.1 ポイント増加、リゾートホテルは 3.6 ポイント増加、ビジネスホテルは 6.7 ポイント増加しました。2 月 20 日まで適用された「まん延防止等重点措置」の影響を受けたものの、前年同月の全日数が緊急事態宣言下にあったため、増加しました。
(参考)前々年(2020 年)比では、シティホテルは 45.2 ポイントの減少、リゾートホテルは 43.1 ポイントの減少、ビジネスホテルは 49.7 ポイントの減少となっています。

④ ホテル客室単価・宿泊収入…ホテル客室単価、宿泊収入ともに前年同月を上回る。

単位: %

	客室単価	宿泊収入
2021/2	△23.6	△75.5
3	3.5	△10.5
4	6.5	295.2
5	323.9	2,310.5
6	11.2	4.4
7	△6.6	△28.0
8	△9.9	8.9
9	△17.6	△38.1
10	△9.0	△40.1
11	△3.8	△34.5
12	12.5	26.5
2022/1	16.9	67.2
2	6.4	23.5



※対象施設数:26施設(シティ8、リゾート18)、ビジネスは除く(R3.10にてホテル1施設の集計終了し、R3.11より新たなホテル1施設を集計開始)
※客室単価は26施設の平均値、宿泊収入は各施設の推計値の総額(稼働率及び客室単価より当社推計)
※公表後に改定する場合があります最新公表資料が確定値とする。

ホテル客室単価(シティ&リゾート)は6.4%増と3ヵ月連続で前年同月を上回り、宿泊収入においても23.5%増と3ヵ月連続で前年同月を上回りました。
(参考)前々年(2020 年)比では、客室単価は 18.6%の減少、客室収入は 69.7%の減少となっています。

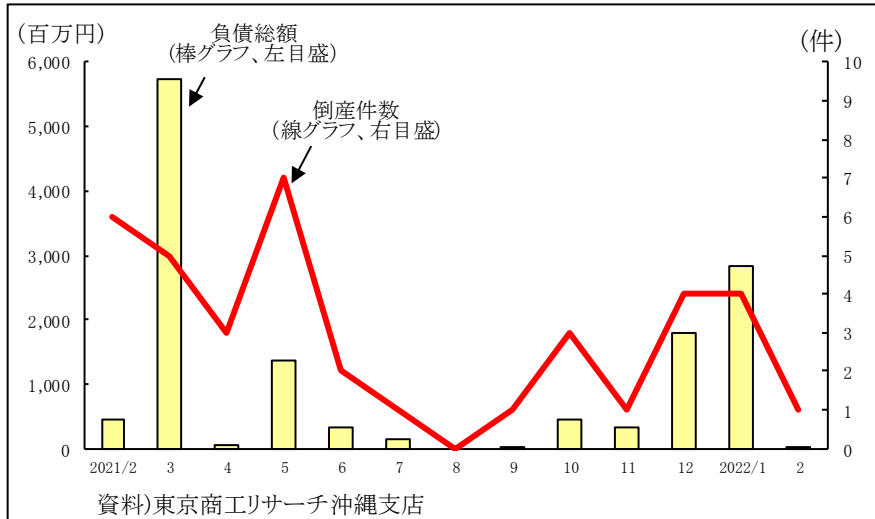


■企業倒産： (やや良い)

企業倒産・・・件数、負債総額ともに前年同月を下回る。

単位:百万円、件

	負債総額	倒産件数
2021/2	454	6
3	5,753	5
4	37	3
5	1,359	7
6	337	2
7	154	1
8	0	0
9	26	1
10	434	3
11	320	1
12	1,803	4
2022/1	2,819	4
2	10	1



注) 負債総額1,000万円以上を集計対象

2月の企業倒産件数は、1件となり、前年同月より83.3%下回りました。

負債総額は1,000万円となり、前年同月より97.8%下回りました。

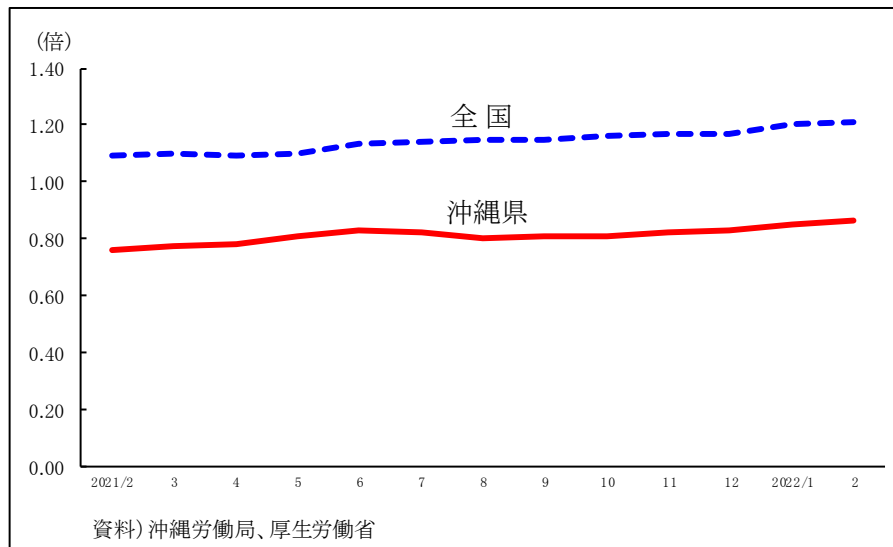


■雇用関連： (やや悪い)

①有効求人倍率・・・沖縄、全国はともに前月より上昇。

単位:倍

	沖縄県	全国
2021/2	0.76	1.09
3	0.77	1.10
4	0.78	1.09
5	0.81	1.10
6	0.83	1.13
7	0.82	1.14
8	0.80	1.15
9	0.81	1.15
10	0.81	1.16
11	0.82	1.17
12	0.83	1.17
2022/1	0.85	1.20
2	0.86	1.21



注) 季節調整済

注) 沖縄県の数値は県内を就業地とする「就業地別」求人数を用いて算出

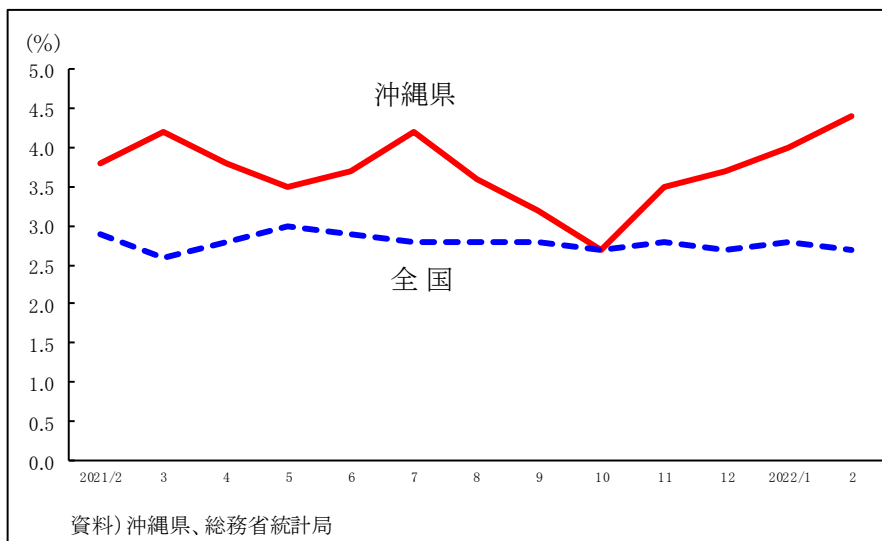
2月の雇用状況は、月間有効求人数(季節調整値)が前月比1.9%増の27,771人に対して、月間有効求職者数(同上)は前月比1.0%増の32,357人となり、有効求人倍率(季節調整値)は0.86倍と、前月より0.01ポイント上昇となりました。

②完全失業率・・・沖縄は前月より上昇、全国は低下。

単位:%

	沖縄県	全 国
2021/2	3.8	2.9
3	4.2	2.6
4	3.8	2.8
5	3.5	3.0
6	3.7	2.9
7	4.2	2.8
8	3.6	2.8
9	3.2	2.8
10	2.7	2.7
11	3.5	2.8
12	3.7	2.7
2022/1	4.0	2.8
2	4.4	2.7

注) 季節調整済



2月の完全失業率(季節調整値) は、4.4%となり前月より0.4ポイント上昇しました。